

# 平成27年度 大分市公共下水道事業会計 決算ポイント

## 経営状況等

平成27年度大分市公共下水道事業会計決算につきましては、収益的収支で約5千5百万円の純損失を計上しましたが、内部留保資金繰越額は約13億5千万円を確保しました。

公共下水道事業は、整備費の財源に活用した企業債の償還費が事業経営にとって大きな負担となっており、今後さらに普及率の向上に努める必要がある中、施設の老朽化に伴い改築更新費の増加が見込まれています。

こうしたことから、平成24年度から平成29年度を計画期間とした「大分市公共下水道事業中期経営計画」を策定し、単年度の建設改良費を汚水30億円、雨水を合わせても40億円以内に抑えるとともに、平成29年度には収益的収支を黒字化する等の目標を掲げ、公共ますへの早期接続や使用料収納率の向上をはじめ、業務執行方式の見直し、職員の適正配置等、経営健全化に向け積極的な取組みを進めています。

## 大分市公共下水道事業中期経営計画の取組み

	目標（平成29年度）	平成27年度決算
人口普及率	61.9%	61.9%
水洗化率	91.7%	88.6%
収支バランス	収益的収支を「黒字」	△55,134千円
一般会計繰入金	基準外繰入金を「0」	421,077千円

※平成25年度に平均改定率13.0%の使用料改定を実施し、平成29年度に再度13%程度の改定を計画している。

## 平成27年度 決算の状況

(単位：千円)

区分	平成27年度	平成26年度	増減	説明
収入	11,844,977	11,911,553	△66,576	使用料収入 5,436,438 基準外繰入金 421,077
支出	11,732,219	11,862,358	△130,139	
収益的収支	112,758	49,195	63,563	
当期純損益（消費税抜き）①	△55,134	△79,434	24,300	
収入	7,149,666	6,524,503	625,163	国庫補助金 1,933,055 企業債 3,464,300
支出	10,656,511	9,810,810	845,701	建設改良費 4,386,574 企業債償還 5,907,402
資本的収支②	△3,506,845	△3,286,307	△220,538	
補てん財源				
前年度からの繰越金	1,368,853	1,131,039	237,814	
当年度損益勘定留保資金	3,546,277	3,540,926	5,351	長期前受金戻入を除く
計③	4,915,130	4,671,965	243,165	
翌年度への繰越金①+②+③	1,353,151	1,306,224	46,927	

## 主な事業

≪ 収益的収支 ≫ 下水道施設の維持管理など、日常の事業活動に伴う収支

(主な支出)

- 水資源再生センター包括維持管理業務委託 1,182,384 千円
- 汚泥運搬・処分業務委託 470,615 千円
- 使用料徴収事務委託料 246,490 千円

≪ 資本的収支 ≫ 下水道施設の建設・改良など、投資にかかる収支

(主な支出)

- 汚水管渠建設費（新設） 1,955,973 千円
- 光吉台地区マンホール改築工事 42,876 千円
- 弁天水資源再生センター中央監視設備改築工事 730,620 千円  
(平成26年度～平成27年度 実施事業)

## 企業債残高の状況

(単位：千円)

区分	平成27年度			平成26年度	増減
		汚水	雨水		
企業債残高	90,895,186	63,138,724	27,756,462	93,435,288	△2,540,102
うち建設企業債	78,177,148	52,883,488	25,293,660	80,993,066	△2,815,918
うち資本費平準化債	12,718,038	10,255,236	2,462,802	12,442,222	275,816

## 累積欠損金の状況

(単位：円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
当年度純損益	△891,327,943	△787,681,110	△707,626,078	204,461,826	△79,433,890	△55,133,846
その他未処分利益剰余金変動額	-	-	-	-	352,100,812	30,748,480
累積欠損金	△891,327,943	△1,679,009,053	△2,386,635,131	△2,182,173,305	△1,909,506,383	△1,933,891,749